

看護と環境	1年・後期	1単位 15時間	教授 堀金幸栄
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121072

### 1. 授業のねらい・概要

本科目は、環境が人間に与える影響について学生が理解し、看護の対象となる人々が健康に過ごせるためにどのように環境を整えていくかを考察する。内的・外的環境要因にどのようなものがあるのかを学び、人間らしく過ごせる諸条件について考察することができることを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 現代の社会・自然現象の中にある環境問題について説明できる。(D-2)
2. 環境から受ける身体的影響および精神的影響について説明できる。(D-2)
3. フローレンス・ナイチンゲールが注目した、環境について説明できる。(D-2)
4. 環境が人間に与える健康と病気について特にストレスと環境との関連を説明できる。(D-2)
5. 看護の対象となる人々の環境をどのように整えるかを考察することができる。(D-2)
6. 実習事例の置かれている環境について問題をあげ、改善方法をグループ間で検討することができる。(D-2)
7. 療養環境調整について文献を探し、アウトラインをまとめることができる。(D-2)
8. 看護の対象となる人々が健康に過ごせるように、人間らしく過ごせるためにはどのように環境を整えていくかを考察し発表することができる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

講義と演習を中心に授業を進める。人間の健康と病気について理解を深めるために視聴覚教材を用いる。グループワーク発表や個人発表を取り入れる。学生の主体的な取り組みを期待する。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

実習事例の療養環境についてグループワークを行ない発表する。また、個人課題である様々な療養環境の調整について先行文献を引用しながら発表する。リアクションペーパーによるリフレクションを実施する。

#### 【ICT活用の有無】

Google Classroom等による課題の提示や提出。

### 4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	現代の社会・自然現象の中にある環境問題	講義	予習：現代の社会・自然現象の変化としてどのような環境問題があるか調べる。	堀金幸栄

			復習：環境問題についてまとめる。	
2	環境から受ける身体的・精神的影響	講義	予習：環境から受ける身体的・精神的影響としてどのようなものがあるか調べる。 復習：環境要因が人間に与える影響をまとめる。	堀金
3	環境が人間に与える健康と病気 ①～フローレンス・ナイチンゲールが注目した環境～	講義 演習	予習：フローレンス・ナイチンゲールが注目した環境とは何かを調べる。 復習：環境が傷病兵に与えたものについてまとめる。	堀金
4	環境が人間に与える健康と病気 ②～ストレスと環境～ 実習事例検討：グループワークを通して発表資料をまとめる。	講義 演習	予習：人間に与えるストレスについて調べる。 復習：ストレスとなる環境についてまとめる。実習事例の置かれている環境について問題をあげ、改善方法を考える。	堀金
5	実習事例検討：グループ発表	演習	予習：実習事例の置かれている環境について問題をあげ、改善方法を考える。 復習：グループワークであがった意見をまとめる。	堀金
6	療養環境調整の提案（個人発表 アウトライン準備）	演習	予習：どのような療養環境の課題を取り上げるかの準備をする。 復習：療養環境調整について文献を探し、アウトラインをまとめる。	堀金
7	個人発表 第1回 看護の対象となる人々が健康に過ごせるように、人間らしく過ごせるにはどのように環境を整えていくかを考察し発表する。	演習 発表	予習：発表の準備をする。 復習：療養環境を整える看護についてレポートにまとめる。	堀金
8	個人発表 第2回 看護の対象となる人々が健康に過ごせるように、人間らしく過ごせるにはどのように環境を整えていくかを考察し発表する。	演習 発表	予習：発表の準備をする。 復習：療養環境を整える看護についてレポートにまとめる。	堀金

## 5. 成績評価の方法・基準

グループワーク発表と個人発表合わせて40%、レポート60%で総合的に評価する。グループワーク発表と個人発表、レポートに関しては講義内で説明する。評価方法はルーブリック評価を使用し、詳細を学生に説明する。

## 6. テキスト・参考文献

参考資料を講義で紹介する。

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

90分以上事前課題に取り組んで授業に参加すること。授業各回の内容について90分以上の復習を行い、個人課題の考察につなげること。

## 8. 受講上の留意事項

新聞やニュースなどで報道される環境問題について理解を深めること。また看護師としてどのように対象者の環境に配慮していけば良いか考えること。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

グループ発表や個人発表に対するフィードバックは発表時にコメントする。ただし提出された個人課題レポート返却しない。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目であり，修得出来ない場合には直接進級不可とはならないが，必修単位と選択単位を合計して卒業要件単位数を満たさなければならない。

## 11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師・助産師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。